



2026年5月13日

各 位

会社名 パ ス 株 式 会 社  
代表者名 代表取締役CEO 松 尾 孝 之  
(コード番号：3840 東証スタンダード市場)  
問合せ先 取 締 役 星 淳 行  
TEL：03-6823-6664 (代表)

### 業績予想と実績との差異に関するお知らせ

2026年3月期通期(2025年4月1日～2026年3月31日)の連結業績予想と本日公表の実績値との間に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

記

#### 1. 業績予想と実績との差異

##### 2026年3月期通期連結業績予想と実績との差異

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純 利 益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 2,840	百万円 △483	百万円 △495	百万円 △499	円 銭 △6.57
今回実績(B)	百万円 2,370	百万円 △774	百万円 △961	百万円 △1,276	円 銭 △16.52
増減額(B-A)	百万円 △470	百万円 △291	百万円 △466	百万円 △777	円 銭 △9.95
増減率(%)	△16.5	—	—	—	—
(参 考) 前期連結実績 (2025年3月期)	百万円 2,253	百万円 △208	百万円 △228	百万円 △276	円 銭 △4.36

#### 2. 差異の理由

売上高および各段階利益において、当初の予想を下回る結果となりました。  
その主な要因は、下記のとおりです。

##### 1) コスメ事業およびビューティ&ウエルネス事業

主力であるコスメ事業において、新商品投入に伴う広告宣伝費や販売促進費等の先行投資を実施い

たしましたが、売上拡大効果が想定を下回り、損益分岐点に達しませんでした。また、ビューティ&ウエルネス事業では、サプライチェーンにおける不測の事態（試作段階で問題が確認されなかった製品において、量産後に一部機能に支障が生じているロットが存在することが判明）等の偶発的要因により、戦略商品の発売が遅延し、大きな販売機会損失を招きました。

## 2) 再生医療関連事業

売上高は前期比で増加したものの、製品ミックスの変化により全体的な売上総利益率が低下いたしました。加えて、新設した細胞培養加工施設の稼働に伴う減価償却費や販管費の増加が重なり、営業損失が拡大いたしました。

## 3) 新規および研究開発段階の事業

新たな成長分野として開始したマーケット・エクспанション事業およびAI・テクノロジー事業において、当初計画に反して事業不振が継続いたしました。また、サステイナブル事業についても、中心となる微細藻類等の事業が研究開発段階にあり、先行投資費用の計上が続いたことが利益を圧迫いたしました。

## 4) 特別損失（減損損失）の計上

本日付「特別損失（減損損失）の計上に関するお知らせ」にて公表いたしましたとおり、再生医療関連事業、サステイナブル事業並びにAI・テクノロジー事業において、将来のキャッシュ・フロー回収見込みを慎重に検討した結果、減損損失を計上いたしました。

以上の要因により、親会社株主に帰属する当期純利益は前回発表予想を大きく下回る結果となりました。

以上